



三内丸山通信

環状配石墓・大人の墓の立体表示完成

三内丸山遺跡は、縄文時代のムラのたたずまいを体感・体験できる場として、史跡整備を実施しています。

令和4年度は、発掘調査の成果をもとに、8基の環状配石墓、31基の大人の墓の立体表示を行いました。

環状配石墓は、遺体を納めた穴の上に土を盛り、直径約4mの環状に石を配置した墓です。本遺跡の

西側で24基が道路に沿って並んでつくられていたことがわかっていました。大人の墓は、道路に沿って列状に並んでつくられており、遺跡東側では420m以上にわたって続くことが確認されています。

今回の整備で、当時の景観をより体感できるようになりました。

また、大人の墓の露出展示の覆屋は、内部に発



【環状配石墓の立体表示】

生する結露の軽減、遺構の維持管理作業性の向上を目的とし、改修を行いました。



【令和5年度発掘調査地点】

三内丸山遺跡では、ムラの移り変わりや人々の生活について解き明かすため、毎年度発掘調査を行っています。

2023（令和5）年度は、第48次発掘調査として、南地区東側を調査しています。

この付近では、三内丸山遺跡の集落が最も大きくなった縄文時代中期中葉（今から約5,000〜4,800年前）を中心とする竪穴建物跡や貯蔵施設と考えられる土坑（どこう）が多数見つかっています。東側には墓と考えられる土坑が見つかっていることから、今年度の調査では集落の東側の広がりを確認します。

発掘調査現場は、7月3日（月）から公開しており、9月15日（金）までの平日には自由に見学することができません。（雨天時等の調査中止日を除く。）また、現場公開日の午前11時から、発掘調査担当者による15分程度の「現場ガイド」を行っています。現場ガイドの際にはもちろん、公開時には発掘調査に対する素朴な疑問や質問等に発掘調査担当の職員がお答えいたします。ぜひ発掘調査現場をご覧ください。

また、ホームページでは、「発掘最前線」のコーナーで、調査の様子を毎週更新しています。こちらもぜひチェックしてみてください。

発掘調査開始!

特別展

「三内丸山と漆ーくらしを彩る技ー」開催

「漆」といえば何が思い浮かぶでしょうか。お椀や箸などの食器、さらには仏壇など、意外と身近なところで漆は使われています。

漆（ウルシの樹液）を利用する技術は縄文時代からみられ、三内丸山遺跡でも漆塗りの土器や櫛のほか、ウルシの木や種子なども出土しています。

令和5年度特別展「三内丸山と漆ーくらしを彩る技ー」

会場：三内丸山遺跡センター企画展示室
会期：令和5年7月21日（金）～9月18日（月・祝）
観覧時間：午前9時～午後6時 ※入場は閉館の30分前まで
休館日：8月28日（月）
観覧料：一般900円（720円）、高校・大学生450円（360円）
（ ）内は20名以上の団体、中学生以下無料
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展も観覧可能です。



【赤色の顔料と漆を入れた容器(三内丸山遺跡)】



「スマホでかんたん！縄文おでかけスタンプラリー」実施中！！

世界遺産の青森県内の縄文遺跡群をぐるっと回って、素敵な県産品がもらえる、縄文おでかけスタンプラリーを実施しています。

参加は簡単。お手持ちのスマートフォンから参加登録をしたら、県内8つのエリアにある各遺跡や施設に行ってスマートフォンにタッチするだけ。各遺跡や施設ごとにデザインされたスタンプが記録されます。

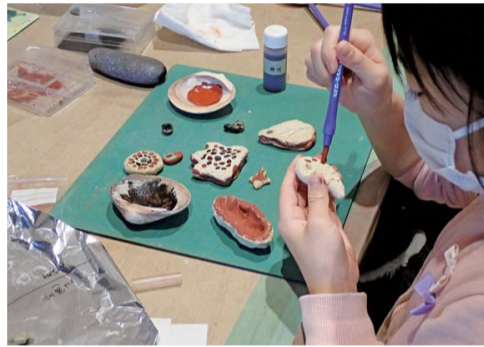
スタンプを手に入れたら、賞品の抽選応募も忘れずに。来訪エリア数が増える



参加登録はこちらからどうぞ！



と、応募できる賞も増えていきますよ。この夏は県内の縄文遺跡群、8エリア、全13カ所の遺跡と関連施設を楽しく巡りましょう！！



【昨年度の「粘土のアクセサリーを作ろう」の様子】

また、7月から始まる特別展「三内丸山と漆」の期間中、粘土でアクセサリを作り、赤い顔料で色を付ける「粘土のアクセサリを作ろう」も開催します。ぜひご参加ください。

開催日	メニュー	定員	申込締切
8/19(土)	土器を作ろう① (2回コース)	20	8/3(木)
9/2(土)	粘土のアクセサリを作ろう	20	8/17(木)
9/30(土)	釣り針を作って魚を釣ろう	20	9/14(木)
10/21(土)	土器を作ろう②	-	-
11/11(土)	土偶のレプリカを作ろう	10	10/26(木)
1/20(土)	土偶を作ろう	20	1/4(木)
2/10(土)	貝のアクセサリを作ろう	20	1/25(木)

※対象は小学3年生以上 (小学3・4年生は保護者の同伴が必要です)

どきどきのしいイベントがぞくぞくさんまる世界遺産ウィーク 開催！

開催期間：令和5年7月21日(金)～7月30日(日)

○三内丸山縄文夏祭り 7月22日(土)、23日(日)
釣りや狩りなどの縄文時代の仕事を体験できる縄文ハンターや、土器や土偶の発掘体験ができる発掘ひろばなどの体験イベントのほか、ステージイベント、あおもりべじまつりによるマルシェ、スーパーボールすくいなどの縁日など、楽しいイベントが盛りだくさんです。

22日(土) ステージイベント
仮面ライダーギーツショー
エフエム青森project Apple POP公開生放送 **ゲスト：王林**
23日(日) ステージイベント
ひろがるスカイ！プリキュアショー

○さんまる世界遺産の日 27日(木)
世界遺産登録2周年を記念して、先着1,000名にグッズを配布します。

○青森フォーラム 29日(土)
世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力について、講演や意見交換を行います。

○週末観覧料無料！
期間中22日(土)、23日(日)、27日(木)、29日(土)、30日(日)は、遺跡を含む常設展の観覧料が無料となります。(特別展は別途観覧料がかかります)



夏休みは三内丸山遺跡で遊ぼう！！

「三内丸山とヒスイー本州最北に集う緑と技術ー」終了

令和5年4月15日(土)から7月2日(日)まで、特別展「三内丸山とヒスイー本州最北に集う緑と技術ー」を開催しました。

この特別展では、三内丸山遺跡をはじめとした青森県の縄文遺跡から出土した代表的なヒスイ製品など約200点を展示し、三内丸山遺跡の玉



【展示状況】

づくり、ヒスイと縄文時代の人々のつながりなどについて紹介しました。来場された方々は、縄文時代中期の丸い大珠や、堅いヒスイにどのよう孔をあけたのかについての解説パネルなどを興味深そ

うに観覧していました。また、特別展の内容について理解を深めていただけるよう、3回の講座やものづくり体験を実施し、多くの方々にご参加いただきました。

さんまる縄文体験のお知らせ

ものづくりなどとおして三内丸山遺跡や縄文時代に触れる「さんまる縄文体験」を行っています。

土器や土偶など、縄文時代の道具を作る体験のほか、「釣り針を作って魚を釣ろう」では、シカの角で作った釣り針で実際に魚釣りを体験することが出来ます。

春祭り開催！

令和5年4月22日(土)・23日(日)に、三内丸山縄文春祭りを開催しました。2日間約四千人と、多くの方に参加していただきました。

屋外で行う「発掘ひろば」「縄文ハンター」などのイベントの他、「ヒスイと出土品に触れよう！」と題して、土器等の出土品に触れることが出来ます。



【「ヒスイと出土品に触れよう！」の様子】

できる体験ブースも設置いたしました。7月22日(土)・23日(日)には、三内丸山縄文夏祭り、9月16日(土)～18日(月・祝)には、「さんまるJOMONの日」の開催も予定していますので、皆様ぜひお楽しみください！

重要文化財15点を保存修理



【令和4年度に保存修理した重要文化財】

平成15年5月に重要文化財に指定された1958点の出土品は、指定直後から継続的に修理を行っています。令和5年度は、土器6点、骨角器5点を保存修理し、さんまるミュージアムなどで今後展示する予定です。